

## 令和4年度事業報告

新型コロナウイルス感染症の国内初感染から3年が経過し、感染症の分類が第2類からインフルエンザと同等の5類へ移行するなど明るい兆しが見え始めています。

しかし、ウイルスの感染力は以前と変わらないことから、高齢者施設の対応はすぐに緩和できるものではなく、今後も慎重な対応が求められます。

和寿園においては、12月末から3月にかけて各事業所でクラスターが発生したことから、ご入所者をはじめご家族や関係者の皆様に多大なるご迷惑をおかけしました。

さて、本年度の当法人経営状況は、新型コロナクラスター発生によるショートステイやデイサービスの受け入れ中止、入院者の増加、諸物価の高騰等により大きく減少し、各事業所の努力も及ばず昨年度を下回りました。

このような厳しい状況ではありましたが、サービス付き高齢者向け住宅廊下等にエアコンを設置し、居住環境の改善を図ったほか、サイバー攻撃に対応するためのセキュリティ強化を図りました。

さらに、最低賃金の改正に伴う時給の改定や新処遇手当などの新たな手当を新設するなど、職員の働く環境の改善を図りました。

また、水害や大地震等の自然災害、あるいは感染症の流行に見舞われた際、介護事業者としての確に業務を遂行するために各事業所でBCP（事業継続計画）策定に取り組みました。

今年度の重点項目の取り組み状況は、次のとおりです。

### 重点項目

#### 1 利用者本位で質の高いサービスの提供

##### (1) 利用者の人権と尊厳に配慮したサービスの提供

- ・ 各事業所の会議やオンライン研修等を活用し、利用者の人権及び尊厳について理解を深めました。

##### (2) 安全安心なサービスの提供

- ・ 身体拘束廃止は9月に研修を行い、事故防止は、各事業所で事故の分析を行い対策等の周知を図りました。感染防止については9月に全体の委員会を開催し、感染予防の強化を図りましたが、各事業所でクラスターが発生し、ご入居者やご家族に心配をかける結果となりました。
- ・ 新型コロナ等の感染症や大規模な災害が発生した場合であっても、利用者に必要なサービスが安定的・継続的に提供される事業継続計画について策定に取り組みましたが、一部の事業所で策定に至らず、次年度の完成を予定しています。

#### 2 地域貢献事業の推進

##### (1) 地域福祉人材の育成

- ・ 介護職員初任者研修は受講者が定員に満たず、また自治会等への職員派遣は、新型コロナ感染拡大状況から今年度の開催を中止しました。

##### (2) 地域サポート事業の拡大

- ・ 配食サービスは4月当初7名が利用されていましたが、施設入所や新規紹介による増減があり、3月末で6名の方が利用されています。

### (3) 地域の方々に集いの場の提供

- ・ 認知症カフェ事業は、新型コロナウイルス感染状況に鑑み、オープンを延期しましたが、ふれしあ和寿園の入居者を対象に模擬店を開催し、そこで得た参加者の意見や課題について令和5年度の開催に向けて具体策を検討中です。

## 3 人材育成と働きがいのある職場づくり

### (1) 計画的な人材確保と資質の向上

- ・ コロナ感染状況に伴い、就職フェア等への参加件数は少なかったが、ハローワーク主催の介護職員就職面談会に参加し、1名採用しました。
- ・ 兵庫県老人福祉事業協会、兵庫県研修センター、兵庫県看護協会等の研修の案内を行い、オンライン研修を中心に参加しました。

### (2) 働きがいのある職場づくり

- ・ 入居者のADL低下に伴う職員の負担の軽減、感染症等による出勤停止や非常時の対策として余剰の人員について検討を行いました。
- ・ 兵庫県の最低賃金改正に伴い各職種の賃金を増額したほか、有給休暇の取得順や報奨手当の新設を行いました。

### (3) 働く環境の改善

- ・ 移乗用リフトや腰痛予防のロボット導入に向け、福祉用具取り扱い業者から情報収集を行ったが、誤動作時の不安や維持・管理の負担等、導入することへの問題や課題が認められ導入には至りませんでした。
- ・ 特養2階食堂改修について検討した結果、改修後の面積が十分確保できないことから計画を中止し、トイレや洗面所等の安全性や利便性を高める改修について検討しました。
- ・ ベースアップ処遇改善加算を財源とする新処遇手当を新設しました。

## 4 組織マネジメントの強化

### (1) コンプライアンス経営の実践

- ・ 事業収支計算書等の経営状況や地域貢献事業等について、ホームページの情報を更新しました。

### (2) 10か年計画の見直しと実行

- ・ 施設整備計画を検討するにあたり、川本会計士に助言をいただきました。

<p><b>【重点項目】</b></p> <p>① <b>安定した経営基盤のもと、地域に貢献しつつ地域に必要とされる事業所づくりを目指します。</b>          → 地区福祉会議等へ積極的に参加し、意見交換や情報共有を図りました。また、認知症カフェ事業は、新型コロナの影響により開催を次年度に延期しました。</p> <p>② <b>専門的な知識と技術を習得し、利用者の笑顔が溢れるよう根拠に基づいた施設サービス及び在宅支援サービスの提供を図ります。</b>          → オンライン研修へ積極的に参加し、職員の資質向上を図りました。</p> <p>③ <b>大地震等の自然災害、あるいは感染症の流行に見舞われた際、介護事業者としての的確に業務を遂行するためにBCP推進体制の構築に努めます。</b>          → 今年度の完成には至らなかったが、感染症の計画において、新型コロナクラスターの発生による経験を基に実行性の高いものへと修正しました。</p>
--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

	年度目標	具体的取り組み	結果
<b>1.利用者に対する基本姿勢</b>			
人権	理念に基づいた経営の推進	<p><b>【理念の浸透】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>法人全体研修会や会議等の時間を利用して、法人理念の具体化・具現化に取組み、理念の継承を図る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>全体研修会、各事業所会議や新入職員研修等において、理念の周知・理解を図った</li> </ul>
サービスの質的向上	質の高いケアの提供	<p><b>【質の高いケア提供に向けた取り組み】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>専門職種又は事業所単位にて職場内研修に関する年間計画を作成する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各事業所でオンライン研修を活用し資質の向上を図った</li> </ul>
		<p><b>【安全なケア提供の推進】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>入居者及び利用者等に対して安全なケアが提供できるようリスクマネジメントの強化や高齢者虐待防止の推進を図る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>全体研修会において、身体拘束、虐待防止についての研修を行うとともに、各事業所に設置している委員会を中心に研修や啓発活動を行った</li> </ul>
		<p><b>【接遇マナー向上の推進】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>入居者及び利用者等に対して一定の支援が行えるよう専門委員や職種、事業所ごとで法人職員の行動指針に基づく接遇マナー向上に向けた取り組みを行う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員行動指針について、各部署ミーティングで唱和を行い、行動指針に基づく取り組みを行っている</li> <li>3月の全体研修会で研修を行ったほか、接遇マナー委員会を中心に、各部署においてテーマを設け研修を行った</li> </ul>
		<p><b>【生産性向上の促進】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>業務上における職員の心身への負担軽減を図り、業務の効率化と生産性向上を図るため、「抱えない介護」を目指した業務改善の検討や見守り機器導入の検討を行う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者の安全な移乗のためのリフトを2週間試したが、導入には至らなかった</li> <li>取引業者から、見守り機器等の情報収集を行った</li> </ul>
		<p><b>【新しい生活様式に基づく業務効率化の推進】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナ等感染拡大予防の観点より、新しい生活様式に基づく業務効率化としてICT（情報通信技術）を活用した会議や多職種連携を推進する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>離れた場所にいる職員が連携システムについて、導入事業所に見学予定であったが、コロナ禍のため中止となり、次年度に持ち越しとなった</li> </ul>

2. 社会に対する基本姿勢			
社会への貢献	地域福祉の推進	<p>【新しい生活様式に基づく地域公益事業の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>法人が現在実施している認知症カフェ（かふえ和み）や配食サービス等に関して、新型コロナ等感染症拡大防止の観点による新しい生活様式に基づいた安定した事業運営が図れるよう整備や拡大を図り、実習生や研修生の受入れによる福祉人材の育成や地域住民に対する福祉教育等、法人自体が持つ専門性を地域に還元する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>認知症カフェの開催は、コロナ感染拡大に伴い、ふれしあ（サ高住）入居者を対象にして試行的に開催した</li> <li>福祉人材の育成のため、10月から介護職員初任者研修開催の予定であったが、コロナ感染拡大に伴い中止した。</li> </ul>
		<p>【新しい生活様式に基づく地域福祉ニーズ発見の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナ等感染症拡大防止の観点による新しい生活様式に基づき、ふれあいサロン活動など法人内職員が地域と連携し、地域における潜在的な福祉ニーズを発見する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域のニーズ等について市やケアマネジャー等から情報収集を行っているが、コロナ感染拡大に伴い、具体的な福祉ニーズの発見にまで至らなかった</li> </ul>
		<p>【法人内施設機能活用による地域住民交流の確保】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>法人内施設機能を活用して高齢者向け食事会や子育て支援としての夕食付学習支援、地域団体への拠点提供や地域交流会等々地域住民との交流が図れる機会や方法を検討する。この場合、新型コロナ等感染症の収束状況に鑑みながら、当該感染症拡大防止の観点による新しい生活様式に基づくこととする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>認知症カフェ開催に向け、ふれしあ入居者を対象に模擬店を開催した</li> <li>地域住民との交流の機会については、コロナ感染拡大に伴い、具体的な検討にまでは及ばなかった</li> </ul>
		<p>【地域内非常災害対策の整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域での災害発生時における地域住民と連携した非常災害対策、災害時における地域の避難所等について検討する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>消防訓練等において、9月に市消防本部、3月に地域の消防団の参加による訓練と意見交換等も行った</li> </ul>
3. 職員に対する基本姿勢			
人材育成	資質の向上	<p>【外部研修】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>県社会福祉研修所、県老人福祉事業協会及び県社会福祉法人経営者協議会主催の研修情報を適時提供する</li> <li>人事考課の精度を上げながら教育・研修制度との連動性のもとで職員の満足度の向上を図り、職員のモチベーションの維持やスキルアップにより生産性向上（業務改善）に繋げる。</li> <li>勤務環境やケア内容の改善を目指すことが日常的に行われるよう、今後ますます多様化する職場環境の中で、中核となる人材を育成する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>外部研修会の開催については、各事業所に適宜情報提供を行い、研修参加の増加につながった</li> <li>各事業所の評価者が、各等級に求められる能力や技術などを理解し、適切な難易度の目標設定ができており、モチベーションアップにつながった</li> <li>各事業所の生産性の向上につながるよう、令和5年度から副主任へ3名、主任へ1名の昇格者が決定した</li> </ul>

人事労務管理	働きやすい環境の整備	<b>【労務管理の徹底】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年休の個別管理を行い、法令に沿った取得を推進する</li> <li>・時間外労働の上限規制を遵守するため、業務分担の最適化により業務の平準化を図り、個別チェックを継続する</li> <li>・「人材の確保」「定着」「育成」の視点で、処遇改善とキャリアパス、現状に見合った人事評価制度により、働き甲斐のある職場づくりに努め、更なる処遇改善や福利厚生を視野に労務管理を適切に実行する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年休の取得並びに時間外労働共に遵守できた</li> <li>・サービス残業にならないよう、残業の発生原因の分析を行い、無許可残業禁止の徹底、業務の平準化、実効性のある業務効率化に取り組んだ</li> <li>・労務管理については、勤怠や給与計算、有給管理等が効率的に行え、職場環境の改善につなげられるよう、勤怠管理クラウドサービス等の導入に向けて取り組んだ</li> </ul>
		<b>【環境改善】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護ロボットや IOT 製品の導入の検討を行う</li> <li>・事務負担の軽減を目的に様式の統一や PC 決済等も検討し、文書の簡素化・標準化・ICT 化を推進する</li> <li>・ミーティング等による職場内コミュニケーションの円滑化による個々の職員の気づきを踏まえた言える化、見える化の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護ロボット等の導入に向けて取り組んだが、誤動作時の不安や維持・管理の負担等、導入することへの問題や課題が認められ、導入には至らなかった</li> <li>・物品購入等の稟議について、申請→承認→決済という流れ、決定事項をスピーディーに実行できるような書式を統一した</li> <li>・それぞれの職員が、個々の業務一覧を作成し、「隠れ業務」に全員が気づく、認識する機会を行った</li> </ul>
	安定した人材確保と定着	<b>【人材確保】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護の魅力向上に繋がる行動を積極的に発信していく場を創り、介護現場を働く場所として選び、働き続けることを可能にする労働環境を検討する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県や市の介護人材推進委員会等が主催する就職説明会に積極的に参加するとともにトライやるウィークの積極的受入れを行った</li> </ul>
		<b>【定着】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・次世代育成支援対策推進法に基づく事業主行動計画を策定し、多様な労働条件の整備に取り組む</li> <li>・手当等の処遇改善を随時行う</li> <li>・ストレスチェックを実施する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・男性の育児参加の促進を行い、1名育児休業を取得した</li> <li>・令和5年度から管理職手当の増額、非常勤職員の扶養手当や正月手当の見直しや新設を行った</li> <li>・ストレスチェックを令和5年1月に実施、高ストレス者は、嘱託医に相談するよう働きかけた</li> </ul>
<b>4. 事業活動に対する基本姿勢</b>			
コンプライアンス経営の強化	事業運営の透明性の向上	<b>【適正な運営】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・法令・定款に準拠した理事会、評議員会の運営を行う</li> <li>・委員の改選による第三者委員会を開催し、得られた意見等を法人経営に活かす</li> <li>・現行法令及び法改正に対応できるよう公認会計士及び社会保険労務士等の専門家の指導を受けながら事業を推進する</li> <li>・組織機能の強化に努め、役割を分担しながら管理体制を整える</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・理事会、評議員会、理事定例会等定時の開催を行った</li> <li>・第三者委員会を7月に開催した</li> <li>・定期的に、公認会計士による法人の経営状態の確認や指導、社会保険労務士による適切な労務管理や、その他労働社会保険に関する指導を受けた</li> <li>・固定資産及び物品購入に関する承認ルートと書類を整理し、承認時間短縮と申請・承認の内部統制を強化した</li> </ul>

		<p><b>【情報公開】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現況報告、決算関係書類、事業計画書、事業報告書、地域貢献事業等をホームページで公開する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・財務状況や資金の使途、事業報告等について、ホームページで公表し、透明性の向上に努めた</li> </ul>
財務 基 盤	財務基盤の安定化	<p><b>【新規事業、改修資金の積立】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後の事業展開を見据えた積立を行うとともに、改修に備え累計減価償却費を確保する</li> <li>・予算管理を徹底し、中長期を見据えた適正利益の確保に努める</li> </ul> <p>以下の事項を引続き想定し、計画的に管理する</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①新型コロナウイルスによる収入への影響</li> <li>②人件費及び職員採用に伴う支出の増加</li> <li>③建物及び備品の経年による修繕費等</li> <li>④介護ロボットやIOT製品の導入</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルスの影響により事業収支が悪化し、施設整備積立を行うことができなかった</li> <li>・利益確保のため、新たな加算の取得に向け、要件を確認したが、人員配置や有資格者要件等により新たな加算取得には至らなかった</li> </ul>
		<p><b>【コスト削減】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コスト削減委員会を中心に、水道光熱費や消耗品等のコスト削減への意識付けを行う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・委員会が中心となって、各事業所にしっかり意図を伝え、取り組むことができた</li> </ul>

<p><b>【重点項目】</b></p> <p>① 利用者の意向や生きがいを大切に、個別性を重視したケアを行います。 →利用者も参加した定期カンファレンスを開催し、意向や思いの確認を行い周知徹底することで、心に寄り添ったケアができました。</p> <p>② 与薬等における服薬事故ゼロを目指します。 →定期的な研修を実施し、マニュアル改善を行うことで、昨年と比較して減少しました。</p> <p>③ コミュニケーションを大切に、業務に取り組みます。 →職員間で目標を共有し、共通意識を持って業務に取り組みました。課題があればその都度、連携会議やコミュニケーションをとり、解決できました。</p> <p>④ さらなる人材育成を行い、質の高いサービスを提供します。 →各委員会リーダーを中心に中堅職員が講師となる研修を毎月実施したことで、スキルアップに繋がりました。</p>
-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

	年度目標	具体的取り組み	結果
<b>1. 利用者に対する基本姿勢</b>			
人権	理念に基づいたサービスの実践	<p><b>【ケアプラン】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>定期的カンファレンスを行い、その人らしくいきいきとした生活が送れるよう、処遇計画、介護保険サービス計画を立てる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者に参加していただき、思いを聞きながらカンファレンスを行った</li> <li>処遇計画、介護保険サービスにおいても、半年に1回、本人の意向に沿い、状態に合わせた計画を立て、その人らしい、いきいきとした生活を送れるよう支援を行った</li> </ul>
		<p><b>【人権と尊厳】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>身体拘束に関する問題意識を高める定期研修会を実施する</li> <li>接遇マナー委員会による啓発研修会を実施する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>身体拘束に関するアンケートを行った（9月）</li> <li>毎月接遇マナーの目標を掲示し、唱和することで啓発を行った</li> <li>接遇マナーについての研修を行った（9月）</li> </ul>
サービスの質的向上	看護、介護サービスの向上	<p><b>【医療面】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>カンファレンス時に医療と介護の情報交換を行う</li> <li>ターミナルカンファレンスを開催し統一した援助を実践する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>カンファレンスに看護師が参加し病状や薬の情報を伝え医療の問題点を共有した</li> <li>3名ターミナルケアを行った。状態の変化に伴いカンファレンスを行い統一した援助を行うことができた</li> </ul>
		<p><b>【排泄】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>一人一人に合わせた排泄ケアを実践する</li> <li>安全で快適なトイレ空間を提供する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>体調の変化に応じて、排泄用品を提供した</li> <li>冬場は暖房を入れて快適な空間を提供した</li> </ul>

	<p><b>【入浴】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・安全で快適な入浴ができるよう ADL に合わせた入浴形態を考え実践する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の ADL の変化に応じた介助ができた</li> <li>・入浴介助を始める前と後にミーティングをする事で情報の共有ができた</li> </ul>
	<p><b>【口腔衛生】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・誤嚥性肺炎を予防するために口腔体操を計画し実践する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎食前の口腔体操を実施した</li> <li>・利用者全員の口腔内観察を月 2 回実施し、予防に努めた</li> </ul>
	<p><b>【アクティビティ】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全体レクリエーション、喫茶会、誕生会を計画し実践する</li> <li>・季節の行事を計画し実施する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体レクリエーションを週に 1 回行った（歌、体操他）</li> <li>・誕生日会、喫茶会も計画通りに実施できた</li> <li>・内容に変更はあったが季節の行事を予定通り実施した</li> </ul>
安全管理の徹底	<p><b>【事故防止】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ヒヤリハット・事故報告書をもとに対応策を検討し実践する</li> <li>・服薬に対する研修を行い、意識を高めることで服薬事故の減少につなげる</li> <li>・防犯カメラを利用した捜索研修会を行い、行方不明者の早期発見に努める</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・週に 1 回事故検討会を開き、対応策を検討した</li> <li>・夜勤者に対して服薬マニュアルの確認と個別研修を行った</li> <li>・捜索研修会を行った（5 月・11 月）</li> </ul>
	<p><b>【感染防止】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナウイルス、ノロウイルス、インフルエンザ等の感染防止についてシミュレーション研修を実施する</li> <li>・協力医院との連携を図る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナウイルス発生時のシミュレーション研修を行った（7 月 19 日）</li> <li>・ノロウイルスシミュレーション研修を行った（10 月 18 日）</li> <li>・1 月 21 日から発生した、コロナクラスターの際、にしき記念病院との連携を図り職員、利用者の検査を行った</li> </ul>
	<p><b>【防災】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年 2 回避難訓練、消防訓練を実施し防災意識の啓発に努める</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・11 月 8 日に丹波篠山消防署の立ち合いのもと、避難訓練を実施した</li> <li>・3 月 26 日に消防団の立ち合いのもと、避難訓練と通報訓練を実施した</li> </ul>
業務、環境の改善	<p><b>【業務改善】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・週 1 回内勤会議を開催し、意見交換を行う</li> <li>・変更事項、連絡事項の周知徹底を实践する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎週 1 回内勤会議を行い、意見を集約することで業務改善ができている</li> <li>・全職員の押印欄を記載した用紙で回覧し、押印確認することで周知徹底を行っている</li> </ul>
	<p><b>【環境改善コスト】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・設備の不具合の早期発見に努め、早期対応する</li> <li>・5 S 活動（整理、整頓、清掃、清潔、しつけ）の普及に努める</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不具合があった場合は早急に破損届けを提出して対応した</li> <li>・11 月に定期研修にて 5 S 活動についての研修を行った</li> </ul>
<b>2. 社会に対する基本姿勢</b>		

社会への貢献	地域社会への貢献	<b>【地域との交流】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症カフェの計画、実施に参加する</li> <li>・地域の行事に参加する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プレオープンとして6月19日に「ふれしあ」入居者を対象に実施した。養護より2名参加した</li> <li>・高屋地区クリーン作戦に6月に4名、10月に6名の職員が参加した</li> </ul>
		<b>【緊急ショート】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者のセーフティーネットとして困窮者の受け入れをする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・丹波篠山市より1名、西脇市より1名の生活困窮者の受け入れを行った</li> </ul>
<b>3. 職員に対する基本姿勢</b>			
人材育成	中間管理職者の資質向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・考課者研修を実施する</li> <li>・リーダー会議を開催する</li> <li>・リーダー研修を受講する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4月のリーダー会議の中で、評価基準を統一するための研修を行ったことで、共通した評価ができた</li> <li>・毎月リーダー会議を2回行った</li> <li>・毎月2回のリーダー会議の中でリーダーの在り方についての研修を行った</li> </ul>
	職員の資質向上	<b>【研修】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各職位に合った研修計画を作成し実施する</li> <li>・毎月定期研修会・ヘルパー研修会を実施する</li> <li>・研修の講師をする（初任者研修・定期研修）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍によりオンライン研修が主流であったが、外部研修も含め、研修計画に沿って実施した</li> <li>・委員会主体の感染対応や事故防止等の研修や個人講師による研修を毎月1～2回実施した。ヘルパー研修も概ね毎月実施した（1月コロナにより未実施）</li> <li>・初任者研修は最低開催人数を満たさず中止となった。毎月の定期研修会は一般職員を含め、計画に沿って講師を行った</li> </ul>
人事労務管理	安全衛生に関する取り組みの充実	<b>【ストレス軽減】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・業務終了後30分以内に帰るよう啓発する</li> <li>・上司が各担当職員の面談を行う</li> <li>・ストレスチェックを実施し自分の心身の状態を把握する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・役職者は残業することがあるが一般職員は帰ることができた</li> <li>・4月、9月、2月に担当職員の面談を行い、問題のある職員についてはその都度相談にのった</li> <li>・ストレスチェックは令和5年1月実施した</li> </ul>
		<b>【事故防止】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・危険箇所がないか定期的に見回りをする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5月、9月、1月に見回りを実施し安全衛生委員会で報告。危険箇所はなかった。事故5件、ヒヤリ2件報告した</li> </ul>
<b>4. 事業活動に対する基本姿勢</b>			
財務基盤の安定化	養護の定員の確保	<b>【養護】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定員割れを防ぐため各福祉事務所と連携する</li> <li>・入院者を多く出さないように医療と連携する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝来市・小野市・西脇市と連携しながら4名の新規入所者を受け入れた</li> <li>・医師の指示や協力医療機関と連携し、重症化しないよう早期対応に努めた</li> </ul>

	<p>特定施設の増収</p>	<p><b>【特定】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護サービスが必要な利用者の選定及び適切な区分変更を行う</li> <li>・利用者の状態に合わせたケアプランの見直しを行う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・退院後、利用者の状態が変わられた時は区分変更を行った。状態に合わせたケアプランを立て適切な介護保険サービスを行った</li> <li>・利用者の状態に合わせた適切なサービスができていないか毎月見直しを行い、状態が変わられた時は、その都度ケアプランの見直しを行った</li> </ul>
	<p>訪問介護の増収</p>	<p><b>【訪問】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・効率よくヘルパーを配置し、新規の話があれば早期に対応し、新規利用者の獲得に努める</li> <li>・自費事業を積極的に受け入れる</li> <li>・ふれしあとの連携を密にする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上期新規契約介護保険6名、介護保険外契約4名（内2名は両方契約している）</li> <li>・自費事業について、下期延べ85回の対応を行った（上期71回）</li> <li>・連絡票等を活用し、自費受診同行の協力やタクシー手配、排泄状況のモニタリング、利用者の物品購入時等、連携を行った</li> </ul>

<p><b>【重点項目】</b></p> <p>① 利用者の満足度を高めるためサービスの質の向上に努めます。 →本人・家族の意向に沿ったケアプランを作成し介護を実践する事が出来ました。しかし大勢の方がコロナに罹患された時の食事や入浴，排泄のサービスは改善の余地があると思われます。</p> <p>② 利用者が安心できる生活環境づくりと安全管理の徹底を図ります。 →2階トイレ改修は令和5年度に施工の予定です。2階食堂のスペース不足の問題についてはテーブルの数を減らす、時間差を設ける、1階へ移動して食事される方を増やす等の対応で解決しました。また、職員のコロナ感染が現実のものとなり、少ない職員でサービスを継続したことがBCP（事業継続計画）素案に反映出来ました。</p> <p>③ 外部研修への積極的な参加と振り返りを行い、職員の資質向上を図ります。 →オンラインや現地参加の外部研修には7名の職員が参加し、2名の資格取得に繋がりました。また、コロナ感染予防研修には7名が参加した事により、コロナ発生時には大いに役立ちました。</p>
--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

	年度目標	具体的取り組み	結果
<b>1.利用者に対する基本姿勢</b>			
人権	理念に基づいたサービス	<p><b>【意識付け】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>サービス内容の変更を行うときは内容が理念に沿ったものになっているか問いかけを行い、理念の周知を図る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>グループ会議のカンファレンスで、サービス内容が理念に沿っているか確認した</li> </ul>
サービスの質的向上	看護、介護サービスの向上	<p><b>【看護面】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>嘱託医及び介護職員と連携を図り、細心の注意と深い観察力をもち、利用者の体調変化を早期に発見するよう努める</li> <li>介護、看護、協力歯科医院との連携を図り、口腔内の清潔と口腔ケアの技術向上に努める</li> <li>感染症対策の情報収集を行い、職員への周知に努める</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>嘱託医、相談員、看護師、介護士の間で連携を取り早期発見し受診した</li> <li>月に一度歯科衛生士による口腔ケア勉強会を開催し、口腔ケアの技術を学んだ</li> <li>国、県からの情報収集及び各部署間で情報交換を行い、ミーティング等で周知した</li> </ul>
		<p><b>【個別ケア】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>随時アセスメントを行い、提供サービスの見直しを図るとともに、プランに沿ったサービスが提供されているか確認を行う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設サービス計画書の新規や更新時に、家族や利用者からの意向をケアプランに反映することができた</li> <li>更新時にはアセスメントを行なった</li> </ul>
		<p><b>【レクリエーション・行事の充実】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>利用者の趣味や生活歴を活かしたレクリエーションを行うとともに、家族に参加可能な行事の案内をする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>時間を決めてレクリエーションを行うとともに、隔月で季節の行事を行った</li> <li>コロナ禍で家族参加の行事は行えなかった</li> </ul>
		<p><b>【家族会との連携】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>アンケートや研修会を開催し、サービスの質の向上に繋げる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ禍により、研修会やアンケートの機会を設けることができなかった</li> </ul>

		<p><b>【資質向上】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症への理解や対応力を高めるために、各職員の経験や能力に応じたオンライン研修や外部研修へ参加する</li> <li>・グループ会議等で振り返りや事例検討を行う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症だけでなく、喀痰研修や安全管理、倫理 拘束廃止 感染防止等の研修に参加した</li> <li>・グループ会議でテーマごとに職員が講師となり、研修を行った</li> </ul>
安全管理の徹底		<p><b>【事故防止】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的に役職者及び委員会メンバーで事故、ヒヤリハットの内容を分析し、対策の検討を行う</li> <li>・グループ会議や内部研修で重要案件に対する振り返りや危険予知トレーニングを行う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・月初にヒヤリハット記録を振り返り、事故に繋がりそうな事例をグループ会議等で伝え、事故防止に努めた</li> <li>・事故防止に関する研修を行った</li> <li>・服薬手順を統一し、薬落ちの事故は昨年度より減少した</li> </ul>
		<p><b>【感染防止】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・手洗い、消毒の徹底と居室の整理整頓や空調管理及び換気を徹底し衛生的な環境を保持する</li> <li>・感染症の集団発生防止と職員の自己防衛意識を高めるための研修を行う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手洗いや消毒などの標準予防策を徹底するとともに、定期的な換気を行った</li> <li>・食堂やデイルームにはアクリルボードを設置し空気清浄機を活用した</li> <li>・6月に基本的な感染対策知識、10月に感染部屋準備、11月に嘔吐物処理の研修を実施し、意識の向上を図った</li> </ul>
		<p><b>【身体拘束虐待の防止】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年2回の内部研修を行い、身体拘束及び虐待防止の意識を高める</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身体拘束及び虐待防止に関するアンケートを行い、問題点等のなかから、毎月一つずつ職員に意見を求め意識向上に努めた</li> <li>・「虐待につながる不適切ケア」というテーマで研修を行った</li> </ul>
		<p><b>【BCP策定】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・BCP研修を行うとともに、毎月1回の会議を行い全職員で策定に取り組む</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テンプレートの部分の入力は進んでいるが、施設特有の対応については見直しが必要と思われる</li> <li>・職員のコロナウイルス感染に伴う自宅待機者が多く発生し、その際の取り組みがBCP作成に活かされた</li> </ul>
業務及び環境の改善		<p><b>【業務改善】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者に関わる時間を増やすために、業務の見直しを行う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・排泄時間を変更し介助の回数を見直した</li> <li>・職員の休憩時間や業務内容を見直し利用者に関わる時間を増やすことができた</li> </ul>
		<p><b>【環境改善】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者がゆとりをもって食事や余暇活動ができるよう、食堂の改修計画に積極的な提案を行う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食堂はテーブルを1台減らし、時間差を設けてゆとりを確保した</li> <li>・食事介助の方が増えたため、職員の配置を見直し、ゆったりとした食事時間を提供する事が出来た</li> </ul>

2. 社会に対する基本姿勢			
社会への貢献	積極的な地域貢献への取	【地域との交流】 ・地域の勉強会に講師等の派遣を行う ・地域のボランティア活動に積極的に参加する	・コロナ感染防止の観点から地域への派遣は行っていない ・日曜日の出勤数を確保するために清掃ボランティアには参加できなかった
		【講師派遣】 ・介護者教室、介護職員初任者研修へ講師を派遣する	・コロナ禍のため、講師の派遣の機会はなかった
		【困難・緊急ケースの対応】 ・重介護、緊急性の高い利用者を積極的に受け入れる	・1件の緊急入所と4件の緊急ショートを受け入れた
3. 職員に対する基本姿勢			
人材育成	中間管理職の育成	【OJT】 ・中堅、指導職の研修計画を作成し、管理職候補を育成する	・コロナ感染予防のためオンライン研修のみ参加した ・毎日の業務における1日リーダー制を採用し、積極的なリーダーシップを取る職員が増えた
	職場内・外研修の充実	【研修計画】 ・各階層別に応じた内部研修を実施し、より一層の職員の育成と勤務意欲向上に取り組む	・グループ会議を活用し、介護技術や感染症等の研修を行うとともに、歯科衛生士による口腔ケアの勉強会を行った
人事労務管理	職場環境の改善	【環境改善等】 ・現行業務の見直しや改善策等の意見交換ができる場を設けリーダー会議で検討する ・ストレスチェックを行う	・職員がコロナ感染や濃厚接触により出勤数が減っても継続できるよう業務を見直しました。 ・1月にストレスチェックを行った
	規則の周知	【方法】 ・グループ会議やパート研修で各種規程の周知を図る	・グループ会議や日誌での申し送り、毎日のミーティング等で周知に努めた
	人事考課の精度向上	【研修、周知方法】 ・統一した評価を行うため、年2回考課者研修を開催する	・リーダー会議で研修ができなかったため、個々に時間を取り報告や相談をして人事考課を進めた
4. 事業活動に対する基本姿勢			
財務基盤の安定化	入所・短期の稼働率95%確保	【入所】 ・利用者の体調管理を徹底するとともに、体調の変化を早期に発見し、長期入院者を減らすよう努める	・長期入院とならないよう体調の変化を早期に発見し受診したが昨年と比べ入院延べ日数は171日多かった ・体調不良者には適宜抗原検査を実施したが、施設内の感染を防ぐことはできなかった 入所の稼働率 88.5%

		<b>【短期】</b> ・各事業所に空床ベッドの情報提供を行う	・12月末から1月末、2月末から3月のクラスター発生により、ショートを受け入れを中止したため稼働率が大幅に低下した 短期の稼働率 97%
コスト削減の徹底		<b>【水道光熱費】</b> ・コスト削減委員を中心に、職員にコスト意識を高めるよう働きかける	・光熱費の高騰をふまえ、啓発ポスターを活用し、 unnecessary な暖房を減らすなど職員のコスト削減意識を高めた
		<b>【物品】</b> ・物品の在庫管理を徹底し、むだな仕入れを減らす ・備品を大切に使用し、修理や購入を減らす	・インターネットを活用し、物品購入時の価格比較を徹底した ・在庫管理を徹底し、過剰な発注を防ぐことができた
取得可能な加算の算定		<b>【算定予定の加算】</b> ・認知症ケア加算Ⅰの算定要件を満たすため、認知症介護実践リーダー研修へ参加する	・算定要件を満たすことができず、認知症ケア加算Ⅰは取得できなかった

<p><b>【重点項目】</b></p> <p>① 個別ケアの実践により、利用者の満足度向上を図ります。 →満足度調査を実施し、結果はおおむね良好でした。</p> <p>② 地域とのかかわりを重視し、交流を実施します。 →感染症対策により実施できていません。</p> <p>③ 業務改善の徹底を図り、より良い職場環境を構築します。 →業務改善の提案を実施することによりやりがい向上し、職場環境が良くなっています。</p> <p>④ 行政との連携を図り、法令を遵守します。 →定員変更等について行政等の関係機関と連携を取ることができました。</p> <p>⑤ 感染症対策を継続します。 →検温回数、手指消毒、換気等、必要な感染対策を継続しています。また、新たに空気清浄機を導入しました。 12月にクラスターが発生し計8日間の営業を停止しました。</p>
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

	年度目標	具体的取り組み	結果
<b>1.利用者に対する基本姿勢</b>			
人権	理念の理解と実践	<p><b>【理念の実践】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・判断に迷うことがあれば立ち返れるよう、会議にて理解を深める</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会議内及び随時検討し、理解を深めることができた</li> </ul>
サービスの質的向上	更なる自立支援	<p><b>【自立支援の発展】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅生活の継続を支援する意識を持ち、機能の維持向上を図る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・機能訓練指導員だけでなく、介護職員も含めて、在宅生活継続を支援する意識を持つことができた</li> </ul>
		<p><b>【自立支援の成果の確認】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者に変化があれば気づきノート等を活用し、周知を図る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・変化に気づいた場合はまず口頭で即座に相談し、申し送りを用いて周知することができた</li> </ul>
		<p><b>【個別対応】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一人一人の想いを傾聴し、支援に活かす</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・想いを真摯に受け取り、関係者と協力することができた</li> </ul>
	認知症の理解	<p><b>【病気としての理解】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症研修に参加する</li> </ul> <p><b>【事例検討】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月2名ずつの事例検討会を実施する</li> <li>・職場内研修会を実施する</li> </ul> <p><b>【個別対応】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本人の想いを尊重したケアを実践する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症介護実践リーダー研修1名</li> <li>・認知症介護実践者研修1名 受講</li> <li>・会議内研修で認知症研修を実施した</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・必要に応じて事例検討を実施した</li> <li>・会議内にて研修を実施した</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症の特性に応じたケアができつつある</li> <li>・必要に応じて会議内で全員の意見を出し合っている</li> </ul>
関係機関との連携	<p><b>【家族との信頼関係】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・送迎時及び必要時にはご利用者の様子をお伝えする</li> <li>・満足度アンケートを実施する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・送迎時にご家族と積極的に会話をを行い、その日の状態や施設での様子をお伝えすることで、良い関係を保つことができた</li> </ul>	

			<ul style="list-style-type: none"> <li>・3月にアンケートを実施し66%のご家族より回答があった。おおむね良好な回答だったが、一部改善の検討が必要な内容もあった</li> </ul>
		<b>【ケアマネジャーとの信頼関係】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・担当者会議や必要時に適時連絡を取り、情報の共有を図る</li> <li>・利用者状況報告書の作成を検討する</li> <li>・状況に応じて見学会を開催する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・連絡漏れが無いよう、専用のノートを作成し、継続している</li> <li>・利用者状況報告書を作成し、ケアマネジャーへ送付できた</li> <li>・感染症対策で見学会は実施できていない</li> </ul>
		<b>【行政との連携】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・運営について不明な点があれば、その都度行政に確認する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定員変更に際し、行政に確認を行った</li> </ul>
<b>2. 社会に対する基本姿勢</b>			
社会への貢献	地域資源との関係強化	<b>【各種学校等との交流】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・積極的に実習生を受け入れる</li> <li>・状況に応じて各種学校と連携を図る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園芸療法実習生1名受入れ</li> <li>・インターンシップ高校生1名受入れ</li> </ul>
		<b>【地域支援】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域清掃作業への参加</li> <li>・地区いきいき塾の運営</li> <li>・「かふえ和み」への協力</li> <li>・配食サービスの協力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高屋クリーン作戦(6/26・10/23)に計8名参加した</li> <li>・感染拡大期に電話対応となった時期もあったが、問題なく運営できた</li> <li>・デイサービス利用者へは継続中</li> </ul>
		<b>【介護教室等への講師派遣】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・初任者研修での講師担当</li> <li>・各種学校等の介護教室での講師派遣</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症対策の為、初任者研修は未実施(講師予定者5名)</li> <li>・感染症対策で未実施</li> </ul>
<b>3. 職員に対する基本姿勢</b>			
人材育成	個人のスキルアップ	<b>【研修機会の創出】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各種研修情報の提供</li> <li>・一人最低年2回の外部研修(オンライン研修)への参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・階層に合った研修の情報提供を行い、おおむね一人1回のオンライン研修を受けることができた</li> <li>・認知症介護実践リーダー研修1名</li> <li>・認知症介護実践研修1名</li> </ul>
	職員満足度の向上	<b>【意見を出し合える風土づくり】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・良い提案は積極的に実行する</li> <li>・改善点があれば即座に対応する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・普段の会話や会議などから改善提案があり、すぐに実行することができた</li> <li>・検討の必要のない軽微なことについては、翌日より改善することができた</li> </ul>
	職員満足度の向上	<b>【チームケアの推進】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的なマニュアルの改訂により、対応の統一を図る</li> <li>・良い対応は周知し、底上げを図る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染対応マニュアル、嘔吐処理マニュアル、介護業務マニュアル、事故対応マニュアルについて改定を実施した</li> <li>・朝礼と申し送りにて周知を図った</li> </ul>

人事労務管理	各種規則の周知	<b>【就業規則等の理解】</b> ・定期的に研修会を実施する	・4月に研修会を実施した ・規則の改定時には説明を行い周知した
	環境整備	<b>【不備個所の早期改善】</b> ・破損届を活用し、不備個所の早期改善を図る ・気づいたところはすぐに対応する	・修理、改修が必要なところは随時対応できた ・また、長く使い続けるための取り扱いを決め、徹底を周知した
	業務・役割の見直し	<b>【適材適所】</b> ・専門性を高めつつ、さまざまな業務に関わり、視野を広げる ・組織を明確にし、それぞれの役割を確認した上で、連携を図る	・職務の範囲については役職者と相談し、必要があれば個別での指導を行った ・必要のある時は個別に対応し、連携を図ることができた ・業務改善を行うことで業務の整理ができつつある
<b>4. 事業活動に対する基本姿勢</b>			
財務基盤の安定化	収入の増加	<b>【稼働率】</b> ・目標稼働率 85 パーセント以上（1日 25.5名以上/30名） ・ドリームだより、楽習だより（学習だより）の発行を継続し、PRに努める	・7月より定員を35名に変更した 年間稼働率は75.2% （12月に感染症の影響で計8日間営業を停止した） ・ドリームだより、楽習だよりは継続発行できておりあわせてふれしあ入居者ご家族への発送も継続している
		<b>【加算の算定】</b> ・算定可能な加算を算定する	・新規加算については取得できなかった
		<b>【利用中止者への対応】</b> ・関係者との連携を密に行い、早期に対応する。 ・EメールやLINEを活用し、ご家族との連携向上を図る	・欠席利用者についてケアマネジャーへの連絡漏れを防止するための記録簿を作成し継続している ・EメールやLINEの活用はでなかったため、次年度への検討とする
	支出の抑制	<b>【物品管理】</b> ・整理整頓を継続し、不要物品を置かない	・定期的な整理整頓を実施し、不要物品の処分ができた
		<b>【光熱水費等】</b> ・決められたルール順守を徹底する ・定期的なチェックを実施する	・ルールに沿っていない場合は、すぐに申し送り等で周知を図った ・必要なチェックはできている

<p><b>【重点項目】</b></p> <p>① <b>和寿園の理念及び介護支援専門員倫理綱領に基づいたケアマネジメントを行います。</b>          →和寿園の理念・職員行動指針及び介護支援専門員倫理綱領に基づき、利用者の自己決定を尊重し、利用者の自立支援に向けたケアマネジメントを行うように努めました。</p> <p>② <b>市長寿福祉課、地域包括支援センター、民生委員・児童委員等と情報共有に努め、地域の社会資源を活用し地域との関わりを深めます。</b>          →市長寿福祉課、地域包括支援センター、民生委員・児童委員等と会議や研修を通じて情報共有に努め、利用者ニーズと活用できる地域の社会資源を結び、ケアプランに反映しました。また、地域ケア会議出席や災害時ケアプランを作成し災害訓練に参加して地域との関わりを深めました。</p> <p>③ <b>ニーズに沿ったケアプランの作成を行い、利用者の望む暮らしの実現に向け、質の高いサービス提供に努めます。</b>          →6月に利用者・家族に担当ケアマネジャーに対するアンケートを実施しました。アンケートで頂いた意見を取り入れ、利用者の望む暮らしの実現に向けて、利用者の思いを傾聴し個別性を大切に、ケアプランを作成しました。</p> <p>④ <b>BCP（事業継続計画）の策定に向け業務改善マネジメントを行います。</b>          →令和5年度の完成に向け、BCP（事業継続計画）の策定を進めています。</p>
-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

	年度目標	具体的取り組み	結果
<b>I. 利用者に対する基本姿勢</b>			
人権	理念の理解と実践	<b>【理解】</b> ・利用者の人権を守り、その人らしい生き方をサポートする	・利用者の思いを傾聴し、望む暮らしの実現に向け支援した
		<b>【研修】</b> ・人権、権利擁護の研修に参加する	・9月の全体研修に参加し、人権について学びを深めた ・権利擁護支援者養成講座(基礎研修)を修了した(1名)
サービスの質的向上	ケアマネジメント力の向上	<b>【資質向上】</b> ・「自己点検シート」*1に照らし合わせ、利用者本位のケアプラン作成に努める ・介護保険ガイドブックを活用し、利用者・利用者家族に介護保険の流れを分かりやすく説明できるようにする	・「自己点検シート」を参考に利用者、家族の意向を確認し、ケアプラン作成に努めた ・利用者、利用者家族に介護保険ガイドブックを活用し、理解しやすいように工夫し説明を行った
		<b>【自己研鑽】</b> ・「この指と～まれ」*2「気づきの事例検討会」等の研修会に積極的に参加する ・災害時のケアプラン作成に取り組む	・コロナ禍のため、「この指と～まれ」研修会は中止、5月、11月、3月「気づきの事例検討会」に参加し学びを深めた ・6月、市長寿福祉課、西部地域包括支援センターと協力して災害時のケアプランを作成し、災害訓練に参加した
	多職種間の連携の強化	<b>【職種間の協働】</b> ・チームとして行動ができるように、地域包括支援センターや病院、他事業所と連携を図る	・情報共有を行い、相談、連絡、調整を行い顔の見える関係を作り連携を図った

		<b>【地域連携】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・民生委員・児童委員との交流会に参加し、地域で抱えている困りごとを共有し、地域ケア会議等へ情報提供する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・篠山、西紀、丹南地区の民生委員・児童委員との交流会に参加し意見交換を行った</li> <li>・地域ケア会議に1回出席し情報提供し、地域の困りごとを共有した</li> </ul>
<b>2. 社会に対する基本姿勢</b>			
社会への貢献	地域貢献事業の支援	<b>【困難事例への対応】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・近隣住民との協力体制を築き、地域包括支援センターや関係機関につなぐ</li> <li>・社会資源の把握とその活用に努める</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各機関と連携を行い困難事例に対応し、個別の状況に応じて自治会長・民生委員等、近隣住民と協力体制を築いた</li> <li>・配食、訪問マッサージ等、状況に応じて必要な社会資源を確認し、ケアプランに反映した</li> </ul>
		<b>【地域人材の育成】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自治会等の学習会や講演会に、講師を派遣する</li> <li>・介護職員初任者研修に講師を派遣する</li> <li>・介護支援専門員実務研修における実習生を受け入れる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍のため自治会等からの依頼はなかった</li> <li>・2月実施予定だった介護職員初任者研修は中止になった</li> <li>・8月に1名、介護支援専門員実務研修の実習生を受け入れた</li> </ul>
<b>3. 職員に対する基本姿勢</b>			
人材育成	資質向上	<b>【研修参加】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「学けあ」*3に出席して、ファシリテーター等の役割を担う</li> <li>・知識の定着、資質向上に向けてオンライン研修を受講する</li> <li>・プラン課会議で利用者情報を共有し、気づきの機会をつくる</li> <li>・役割や経験年数に応じた研修に参加する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・11月15日「学けあ」実施に向け協議を行い、ファシリテーターの役割を担った</li> <li>・毎月、中央法規出版の動画研修とケアマネ協会のZoom研修に参加し、知識の定着、資質向上につなげた</li> <li>・毎週のプラン課会議で情報共有し、気づきの機会をもった</li> <li>・コロナ禍のため、出かけての研修には参加できなかった</li> </ul>
		<b>【ストレス軽減】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・メンタルヘルスケアに取り組み、バーンアウトの予防に努める</li> <li>・互いに言葉かけを行い、相談しやすい環境をつくる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1月実施のメンタルヘルスケアに取り組んだ</li> <li>・問題を一人で抱え込まないようにプラン課会議等を活用し、その都度、相談できる環境作りに努めたが、心の余裕がない時は十分な対応ができなかった</li> </ul>
人事労務管理	働きやすい環境の整備	<b>【業務効率化】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・優先順位を考え、仕事の進め方を見直し柔軟な対応に努める</li> <li>・タブレットを利用し時間の有効活用をする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・訪問時間やルートの調整を行い、業務中は、用件を簡潔に伝える工夫を行い、柔軟な対応に努めた</li> <li>・タブレットを利用し事務作業の効率化に努めたが十分ではない</li> </ul>
		<b>4. 事業活動に対する基本姿勢</b>	

財務 基盤 の 安 定 化	安定した収益の確保	<b>【連携】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・月間目標件数105名</li> <li>・地域包括支援センター、病院地域連携室等に利用者確保に向けて紹介の依頼をする</li> <li>・困難事例を積極的に受ける</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上期月間平均担当件数106名</li> <li>・下期月間平均担当件数 74名</li> <li>・8月末で職員1名退職に伴い、特定事業所加算算定不可となり、積極的な紹介依頼は行わなかった</li> <li>・困難事例の紹介は受けた</li> </ul>
		<b>【加算】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・必要な書類整備を行い、加算請求のものをなくす</li> <li>・24時間連絡体制の確保をする</li> <li>・取得可能な加算を算定する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月末にチェックリストで算定可能な加算を算定した</li> <li>・各自が携帯電話を所有し、365日連絡が取れる体制を確保した</li> <li>・認定調査32件(市内)、9件(市外)の調査委託料 退院退所加算、初回加算、情報提供加算を算定した</li> </ul>
		<b>【経費】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・業務効率を図るため、訪問ルートの調整を行う</li> <li>・書類等の提出は声をかけ合い一括して行う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・訪問ルートの調整とともに、レターケースを利用し、事業所訪問や書類提出は声をかけ合い一括して行うように努めた</li> </ul>

\*1 自己点検シート…ケアマネジャーの仕事の進め方について丹波篠山市が作成したもの。

\*2 この指と～まれ…丹波篠山市が主催し、ケアマネジャーや医師、薬剤師等他職種が集まり講習会や事例検討会を行っている。年3～4回開催されている。

\*3 学(まな)けあ…丹波篠山市と市内で特定事業所加算を算定している事業所が、中心になり開催する研修会

<p><b>【重点項目】</b></p> <p>① 安全・安心な食事を提供し、食中毒事故を防止します。 → 納品や保管時の温度管理を行い、食中毒の発生を防止するとともに安全・安心な食事提供を行うことができた。</p> <p>② 温度管理の徹底を行い、適温での食事提供を行います。 → 温度記録の習慣づけができ、適温での食事提供ができた。</p> <p>③ 自施設調理やクックチルに関係なく、利用者が目で見て食欲が出るように盛り付けを行います。 → 見た目の悪い食器を入れ替え、盛り付けることができた。</p>
----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

	年度目標	具体的取り組み	結果
<b>1. 利用者に対する基本姿勢</b>			
人権	理念に基づいた業務の実施	<p><b>【意識付け】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・朝礼で理念の唱和を行う</li> <li>・人権研修等へ積極的に参加する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・週に1～2回しかできていないので時間帯を変更し行った</li> <li>・9月と3月の全体研修会に参加した</li> </ul>
サービスの質的向上	食事提供サービスの向上	<p><b>【食事内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の体調に合わせて食事内容を変更する</li> <li>・盛り付けに注意をし、視覚への満足度をアップする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・担当者と話し合い、利用者の様態に合わせて食事内容を変更した</li> <li>・料理の盛り付け後にチェックし指導をした</li> </ul>
		<p><b>【栄養ケアプランに沿ったサービスの提供】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・栄養ケアに沿った食事内容の提供ができていないか確認をする</li> <li>・連携会議やグループ会議等各会議で情報の共有を図る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昼食時に、各事業所の食事摂取状況を確認した</li> <li>・グループ会議で情報共有し、必要に応じて食事内容を検討した</li> </ul>
		<p><b>【調理技術の向上】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選択メニューや自施設調理回数を増やす</li> <li>・調理から提供までの時間短縮を図る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・月に1～2回であった自施設調理回数を3回に増やした</li> <li>・月2～3回食堂で調理し直接提供した</li> </ul>
	安全管理の徹底	<p><b>【異物混入事故の防止】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・機器の保守及び従業員の服装チェックを行う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・服装チェックなどを徹底し、異物混入事故の予防ができた</li> </ul>
<p><b>【感染防止】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・感染マニュアルの見直しを図る</li> <li>・整理整頓を徹底する</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ対応等を見直した</li> <li>・必要以上に備品などを調理場内に持ち込まないようにし、整理整頓を徹底した</li> </ul>	
<p><b>【防災】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・備蓄・非常食の在庫管理を行う(ローリングストック)</li> <li>・介護職員を中心に食事提供訓練を年2回実施する</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・使用期限が近い物から災害訓練や施設調理等で使用し、食品の入れ替えをした</li> <li>・食事提供訓練を6回実施した</li> </ul>	
		<p><b>【BCP】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時業務継続計画を策定する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人員配置だけでなく、提供者人員を考えて提供食品を検討した</li> </ul>

	業務及び環境の改善	<b>【業務改善】</b> ・職員からの意見を基に、調理場主任と業務を見直す  <b>【環境改善】</b> ・定期的に意見の言える場を設け、業務改善を図る	・個々の技量に差があるため、随時作業工程などを見直した  ・ミーティングの時に意見を出し合い、シフトごとの業務内容を見直した
<b>2. 社会に対する基本姿勢</b>			
社会への貢献	地域貢献事業への協力	<b>【食事サービス】</b> ・昼食、夕食の配食サービスを実施する  <b>【地域人材育成】</b> ・介護職員初任者研修へ講師を派遣する  <b>【地域交流】</b> ・地域のボランティア活動に参加する ・地域のイベントに調理器材の貸し出しを行う	・月に40食～50食提供した  ・2月の開講時に派遣する予定だったが受講者が少なく中止になり派遣できなかった  ・高屋地区クリーン作戦に3名参加した ・コロナウィルスの影響でイベントでの調理機材貸し出しの依頼がなかった
<b>3. 職員に対する基本姿勢</b>			
人材育成	調理員の育成	<b>【教育】</b> ・技術講習会で学んだことを施設調理で実践する回数を増やす  <b>【入職者の育成】</b> ・経験者、未経験者に応じた講習会を行う	・施設調理回数やメニューを増やして技術向上を行った  ・経験に応じてその都度、指導説明をした
人事労務管理	職員の定着	<b>【モチベーション向上】</b> ・イベントでの企画を担当する ・提案や意見等を発表できる場を設ける  <b>【負担軽減】</b> ・すべてのシフト業務ができる職員を増やしていく	・上期に企画し大広間で食事を提供した ・コロナウィルスの影響で下期は提案などできなかった  ・時間をかけて指導したが、シフト業務ができる職員の増員はできなかった
<b>4. 事業活動に対する基本姿勢</b>			
財務基盤の安定化	経費削減の強化	<b>【食費削減】</b> ・価格変動等に対応できるよう、業者を固定せず随時見直しを図る  <b>【水道光熱費】</b> ・コスト削減委員会を中心に使用状況をチェックする  <b>【意識改革】</b> ・コスト削減の提案を定期的に募り、栄養課会議で検討する	・食品や備品などその都度、複数業者に見積りを徴集し、納入業者を見直した  ・水道使用量を毎月チェックしてコスト削減の意識付けをした  ・2か月に1度栄養課会議で検討した

<p><b>【重点項目】</b></p> <p>① 入居者の不安や困りごとに耳を傾け、誠意をもって対応し、安心して生活ができるよう支援します。 →入居者間のトラブルに対し、解消方法について検討し、食事席の変更や傾聴に努めました。</p> <p>② 毎日の状況把握により体調変化に気づき、医療や介護事業所等と連携し早期対応に努めます。 →12/25～1/8に利用者6名、職員3名が、1/21～31に利用者1名が新型コロナウイルスに感染しましたが、協力医院や保健所等と連携を図り、ふれしあ内で療養対応を行いました。幸い全員軽症で、その後もお元気に過ごされています。</p> <p>③ 緊急時に適切な対応ができるよう職員一人一人のスキルアップを目指します →職員一人一人のスキルアップを目標に、職員が講師となり、計画的に研修を行ったり、養護の定期研修会に参加するなど、知識・技術の向上に努めました。</p>
------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

	年度目標	具体的取り組み	結果
<b>1. 利用者に対する基本姿勢</b>			
人権	理念に基づいたサービスの提供	<p><b>【意識付け】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の声に耳を傾け、理念に沿った誠実な対応を心がける</li> <li>・人権、身体拘束、虐待防止等に関する研修会に参加する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引継ぎ時に理念の唱和を行った</li> <li>・9月の全体職員会議で身体拘束についての研修を受講した</li> <li>また、10月のふれしあ会議で身体拘束・虐待防止の研修を、3月の全体職員会議で虐待防止の研修を受講した</li> </ul>
サービスの質的向上	安心・安全な生活の支援	<p><b>【健康管理】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・入居者の嚥下状態に合わせた食事の形態について検討する</li> <li>・緊急時に適切な対応ができるよう、研修を行う</li> <li>・入居者に対して感染予防に関する情報提供や啓発を行う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・副食について、荒刻みにする必要のある方については、支援員が対応している</li> <li>・7月のふれしあ会議で緊急時対応についての研修を行った</li> <li>・ノロウイルスやコロナウイルス感染予防について、チラシやポスターを掲示したり、食事の時間や運営懇談会等の際に、注意喚起を行った</li> </ul>
		<p><b>【状況把握と適切な支援】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・入居者の状況把握と毎日の検温を継続し早期対応に努める</li> <li>・統一したサービスの提供ができるよう、職員間で情報を共有する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日の検温と状況把握を行い、必要に応じ主治医やケアマネジャー、ご家族等につなぎ、早期対応に努めた</li> <li>また、12/25～1/8に利用者6名、職員3名が、1/21～1/31に利用者1名が、コロナ陽性となったが、協力医院や保健所等と連携を図り、ふれしあ内で療養対応を行った</li> <li>・連絡票や引継ぎノート、グループライン等を活用し、情報共有に努めた</li> </ul>

		<b>【防災】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・危険個所の確認と対応に努める</li> <li>・年2回、他部署との合同避難訓練を実施する</li> <li>・災害時における業務継続に向けた取組について検討する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・台風に備え周囲の片づけを行った また、強風により玄関ドアが突然開き破損する事故があり、張り紙による注意喚起を行った</li> <li>・9月に昼間想定で、3月には消防団の方に来ていただき、夜間想定で避難訓練を行った</li> <li>・業務継続計画を作成中。2月にふれしあ会議で非常災害時（コロナ感染症）の対応についての研修を行った</li> </ul>
	団樂の場作り	<b>【レクリエーション・行事】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・入居者同士の交流や活動の場を提供する</li> <li>・季節の行事を計画し、入居者の参加を募る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デカボー体操を2回程度、ビデオ上映会を8月に1回、感染対策を行いながら実施した。また6/19の認知症カフェプレオープンに20名が参加した</li> <li>・感染予防に留意しながら9月に敬老会（25名出席）を実施、12月のクリスマス会については、コロナの感染状況を考慮し、ケーキとプレゼントをお渡しするだけにとどめた（25名分）</li> </ul>
		<b>【環境美化・整備】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・整理整頓、環境美化に取り組み、気持ちよく過ごしていただく</li> <li>・入居者と一緒に季節に合わせた作品等を展示する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・館内の清掃業務をしっかりと行い、整理整頓を心がけた</li> <li>・季節の花を生けたり、夏には、朝顔のグリーンカーテンを設置した。また、入居者と一緒に折り紙等で作った作品を談話室等に飾るなど環境美化に努めた</li> </ul>
<b>2. 社会に対する基本姿勢</b>			
社会への貢献	地域や関係機関等との連携と協働	<b>【生活支援】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の業者と協力し、日用品等の購入を支援する</li> <li>・年2回運営懇談会を開催し、入居者の意見を施設運営に反映する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・井階百貨店、フードショップいじりに、販売や配達を依頼しているが、コロナ感染拡大の時期は、訪問販売は一時中止し、配達のみで対応した</li> <li>・運営懇談会を6月（14名出席）と12月（12名出席）に実施し、入居者との意見交換を行った</li> </ul>
		<b>【低所得者への援助】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・低所得者に対する家賃、共益費、基本サービス費の減免を継続実施する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在4名の方に減免を継続し、実施している</li> </ul>
		<b>【情報提供】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・必要に応じ、地域、関係機関との連携を図る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要に応じ、ご家族や近隣・知人、ケアマネジャー、サービス事業所、市役所、警察署等と連携を図り対応している</li> </ul>
<b>3. 職員に対する基本姿勢</b>			

人材育成	資質の向上	<b>【研修】</b> ・月1回のふれしあ会議等で計画的に研修を実施し、介護の技術や知識を深める	・4月メンタルヘルス、5月認知症ケア、6月食中毒防止、7月緊急時対応、8月接遇マナー、9月プライバシー保護、10月身体拘束・虐待防止、11月事故防止・リスクマネジメント、12月コミュニケーション、1月感染対応、2月非常災害時の対応、3月倫理・法令遵守についての研修を行った
人事労務管理	職場環境の改善	<b>【ストレスの軽減】</b> ・適切に年休を取得し、心身のリフレッシュを図る ・相談できる環境を作る	・希望休や年休を確認し、適切に年休所得ができるよう、勤務表を作成した ・ふれしあ会議で意見交換を行い、何かあればお互いに相談するように努めた
		<b>【業務】</b> ・業務の見直しや工夫により、仕事の負担軽減や効率化を図る ・担当や役割を分担し、お互いに協力する	・食事変更の際、デイサービスやショートとの連携が取れていないときがあったので、確認表を作成した ・担当業務の見直しを行い、一人に役割が偏らないようにした
<b>4. 事業活動に対する基本姿勢</b>			
財務基盤の安定化	入居者の確保	<b>【広報活動】</b> ・空き室情報をホームページへ掲載する ・見学者の受け入れを随時行い、入居につなげる ・市役所や包括支援センター、医療機関等と連携を図る	・空き状況を随時ホームページに掲載した。3月末現在2室の空き有り（4月に2件入居予定） ・R4年度は14件の問い合わせ・見学あり。そのうち6名が入居につながった ・パンフレットを送付したり、空き状況を伝え、必要に応じ、入居についての検討を行った
	コスト削減	<b>【物品】</b> ・物品の管理、整理整頓に努める ・人為的なミスによる修繕等を発生させないようにする	・ラベルを貼るなどして、整理整頓に努めた ・台風の影響により強風にあおられ玄関ドアが破損し、修理を行った。その後は強風の日、扉を締め切りにしたり、張り紙をするなど、注意喚起に努めている
		<b>【水道光熱費】</b> ・水道や電気等のむだをなくし、適正に使用する	・エアコンの設定温度を検討し、むだのない使用を心がけた